

ISO/TC279 国内審議委員会

委員長 西口 尚宏 様

一般社団法人 日本知的財産協会

理事長 別宮 智徳

「意味のある IMS 認証規格」に関する意見

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ご依頼のありました IMS 認証規格（ISO56001）に関する意見を下記の通り提出しますので、ご査収ください。

敬具

記

1. ISO9001 などの既存マネジメントシステムの規格内容や普及プロセスでの課題や問題

- ✓ 認証取得・維持の手続きが煩雑。特に、マニュアルや書類の準備、審査対応に時間を取られる。
- ✓ 営業活動における信頼や受注要件を満たすため、取り敢えず認証取得が目的になってしまう。

2. ISO56001 の規格開発において「実現したいこと」「避けたいこと」

(1) 実現したいこと

- ✓ IMS 認証取得を通じてイノベーションの本質が理解され、新たな価値の創造が活性化される。
 - 組織のトップマネジメントによるリーダーシップとコミットメント
 - イノベーション活動を支援する組織の構築と文化の醸成
 - 新たな価値の発見、ビジネスモデルの開発、ビジネスプランの実行を成し遂げる人財の育成

(2) 避けたいこと

- ✓ IMS 認証取得が目的となってしまう、本来の目的であるイノベーションの具体的な成果が得られない。
- ✓ 形式的な認証取得により自由闊達な雰囲気は損なわれ、却ってイノベーションが沈滞化してしまう。

以上